◆課題が見られた問題例（Ａ知識）

【Ａ知識 2 】
（話すこと・聞くこと：選択式）

◆ ねらいを明確にして質問すること

問題概要
高木さんの話の内容を聞きながら書いた質問について、そのねらいを適切に説明したものを選択する。

【高木さんの発表のはじめの部分】
みなさん、野生動物とはどのような動物か知っていますか。
野生動物とは、山や野原などの自然の中でくらしている動物たちのことです。その種類を正確につかむことは難しく、五百万とも五千万ともいわれています。その野生動物の一部が世界各地で絶めつの危機に直面しているということをニュースで知りました。
そこで、わたしは、どのような原因で絶めつが進んでいるのか疑問をもち、調べてみることにしました。
～（発表が続く）～

【中村さんが書いたカード】
野生動物の一部が世界各地で絶めつの危機に直面しているということだが、それらの動物の名前をいくつか教えてほしい。

1 調べるために役に立った資料は、どのようなものかを知ろうとしている。
2 最も伝えたかったことは、どのようなことかを確かめようとしている。
③ 発表の内容について、どのような具体例があるのかを知ろうとしている。
4 調べたきっかけは、どのようなことだったのかを確かめようとしている。

解答の状況
1 【9.2%/9.3%】
2 【13.8%/15.0%】
③【66.4%/65.2%】
4 【9.6%/9.8%】
無解答【0.8%/0.6%】

※○印は正答
（以降も同様に表記）

要因分析
正答率【66.4%/65.2%】　無解答率【0.8%/0.6%】
- カードの中の「動物の名前をいくつか」が具体例であるととらえることに課題がある。
- 話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、ねらいを明確にして質問をすることに課題がある。

指導上の工夫
メモを取りながら話を聞き、質問をする学習活動
- 話題について興味や関心をもち、要点や気付いたこと、疑問に思ったことなどをメモに取りながら話を聞くことができるように指導することが大切である。
- 相手の回答や話の展開に合わせて、メモを生かして質問ができるように、ペアトークやグループ討論等、学習形態を工夫することが大切である。
- 参考資料：「授業アイディア例」P１（※3）

繰り返し指導のポイント

小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出す。	関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモする。	考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付ける。	社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめる。

スピーチやインタビューなどの活動においては、学年に応じて、5W1H 等の聞く観点に気を付けてメモを取ったり、メモを生かし、目的や立場を明確にして質問したりすること

【Ａ知識 7 】
（書くこと：記述式）

◆ 目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書くこと（条件作文）

問題概要
取材した４つの内容を新聞の報道記事のリードにして一文（二十字以上、三十字以内）にまとめて書く。

【取材した内容の一部】
① 合唱コンクールの県大会が、七月一日に開かれた。
② そのコンクールに、第三小の合唱部が出場した。
③ 第三小の合唱部は、そのコンクールで金賞に選ばれた。
④ 第三小の合唱部は、来月開かれる全国大会に出場することになった。
～（メモが続く）～

【学校新聞の記事の一部】
第三小合学校新聞　平成24年７月号

第三小の歌声 全国へ
県大会で金賞

七月一日、合唱コンクールの県大会に出場した本校合唱部が、金賞に選ばれたので、来月開かれる全国大会に出場することになった。
正答例
～（記事が続く）～

要因分析
正答率【43.9%/43.2%】　無解答率【7.6%/7.5%】
- 二文、三文で書いており、一文の条件を満たしていない。
- 取材した内容に触れずに解答している。
- 過去に「メモを基に児童会だよりの中に適切な内容を書くこと」Ｈ２２Ａ4(※4) 【60.4%/60.3%】でも課題が見られた。

指導上の工夫
目的や意図に応じて、文の論理を考えて書く学習活動
- 新聞等を書く場合、取材した内容を箇条書きにしていくつか挙げた後、５Ｗ１Ｈなど大切な事柄をつなぎ合わせたりまとめたりする学習活動を取り入れていく必要がある。
- 主述や修飾・被修飾の関係を確かめながら、求められている観点に応じて、自分や友達の書いた文章を推敲していく学習を普段から意識的に行うことが大切である。
- 参考資料：「授業アイディア例」Ｐ２

繰り返し指導のポイント

小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書く。	中心を明確にし、目的や必要に応じて書く。	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。	相手に効果的に伝わるように工夫して書く。

複数の情報を選り分け一つの情報とし、それを自分の考えとしてまとめて書くこと

（注）　※３　国立教育政策研究所教育課程研究センター「授業アイディア例」(国立教育政策研究所 HP:http://www.nier.go.jp/参照)
※４　Ｈ２２Ａ4は平成 22 年度調査「Ａ知識」の4の問題である(国立教育政策研究所 HP:http://www.nier.go.jp/参照)